

# えほんのへやだより No.2

## 「わらべうた」ってすごい!

幼い子どもの心と言葉をはぐむためには、「笑顔」と「抱っこ」と「語りかけ」が大切です。赤ちゃんのわらべうたは、「言葉の離乳食」とも言われています。言葉は、人と人とのコミュニケーションがともなうことで身につきます。

わらべうたは「聞く」「話す」など言葉の発達をうながします。

さわってもらうことで安心し、おだやかな気持ちになります。

くり返しのリズムが心地良いので、心が安定してきます。

親子のきずなが深まり、人への信頼感がはぐくまれます。



わらべうたは、ゆったりとした気持ちで遊ぶことがなにより大切です。リラックスして、たくさんふれあいを楽しみましょう。わらべうたについてもっと知りたい!という方は、えほんのへやにわらべうたに関する本があるのでごらんください。



『あやす・あそび 赤ちゃん編』  
①〜③



『あかちゃんのごきげんがよくなる 12のわらべうたえほん』



『おはようからおやすみまでの 12のわらべうたえほん』



『赤ちゃんとお母さんのあそびうたえほん』

他にもたくさんあります。カウンターでおたずねください。

また、毎週木曜日(0歳児対象:11時～、1歳児対象:11時半～)に、「赤ちゃんのおはなし会」をおこなっているボランティア団体「ととけっこう」のメンバーにも、お気軽におたずねください。

